



全国介護事業者連盟メールマガジン



vol. 163

※このメールは全国介護事業者連盟会員の方へ配信しております。

- #### ・全国介護事業者連盟ホームページ

<https://kaiziren.or.jp/>

- ・2024年9月18日「DXなんでも相談窓口」をホームページに設置し、介護・障害福祉業界のDX促進をスタートいたしました。

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/09/press20240918.pdf>

- ・介護チャンネル 全国介護事業者連盟公式チャンネルに是非ご登録をお願いいたします。

https://www.youtube.com/channel/UCD50A6NnDt5Kbj1e3YJMb5Q?view_as=subscriber

- ・全国介護事業者連盟公式 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/kaiziren>

- ・全国介護事業者連盟公式X（旧twitter）

<https://twitter.com/kaiziren/status/1308658754259308546?s=21>

- ・全国介護事業者連盟公式 Instagram

<https://www.instagram.com/kaiziren/>

- ・本内容に関するお問い合わせ、およびメールマガジン配信先の追加（法人幹部、各事業所の管理者や職員などのメールアドレス）を希望される場合こちらまでお願いします。

Mail: info@kaiziren.or.jp

||||| ★目次★ |||||

- #### ・全国介護事業者連盟からのお知らせ

- ## ・厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

- ・介護・障害福祉ニュース



■ 全国介護事業者連盟からのお知らせ

理事長挨拶

いつもお世話になっております。

全国介護事業者連盟の理事長を務めております齊藤正行です。

7月20日の参議院議員選挙において、皆さまのご期待に沿う結果には至りませんでした。

自由民主党より公認を得た3月8日以降、私の持てる全ての力を注いでまいりました。そして、全国の介護・福祉関係者を中心とした皆さまとともに、この選挙を戦えたことを誇りに想います。限られた条件の中で、できることは全てやり切ったと感じております。結果は伴いませんでしたが、悔いはありません。

しかしながら、皆さまのご期待に応えられず、本当に申し訳ありませんでした。全ての責任は、私の力不足であります。

4ヶ月間、全国の介護・障害福祉・保育の現場を廻り想いを伝えて、現場の声を聞き、現場の極めて厳しい状況や将来に対する強い不安を感じ、介護・福祉に携わった22年間の中で、今が1番この状況を変えなければならぬという強い想いと、介護・福祉が大好きだという気持ちを再確認することができました。

これで、次期報酬改定は業界代表者が不在の状況で迎えることが確定したため、私たちの未来が短期的には厳しくなるかもしれません。そのことを招いた責任の重さを強く強く痛感しています。ただ、介護・福祉業界が政治に対する意思がないわけでは決してありません。むしろ、現状を変えて欲しいという強い想いを多くの方が持っていると、私は確信を持っています。5万を超える大切な1票を私に託していただいた皆さまの想いを受け止めて、これから私の在り方については、全国の役員と相談してまいります。

また、当連盟として実行すべきことは何も変わりませんので、介護・障害福祉のルールを我々現場主導で実現させるために、皆さまとともに引き続き前に進めてまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

一般社団法人全国介護事業者連盟

理事長 齊藤正行

◆厚生労働省老健事業「介護職員等の職場環境や待遇に関する実態調査」（協力のお願い）

※本調査は無作為抽出調査となるため、調査対象となった施設・事業所の皆さまはご協力お願ひいたします。

<https://dl.nx1k.jp/4bd83f5c-79cf-4866-be79-1ee392836eed>

◆農林水産省 ニッポンフードシフト事業「食と農をつなぐアワード」（ご案内）

https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2025/aw_connect.html

◆厚生労働省「マイナ保険証と資格確認書について」（ご案内）

<https://dl.nx1k.jp/b0d07ccf-1cc4-410a-bbfc-c00cc1ff0625>

◆厚生労働省 R7年度介護職員処遇改善加算等の取得促進支援事業「介護職員等処遇改善加算個別相談支援（ご案内）」

<https://kaigo-shogukaizen.mhlw.go.jp/>

【全国介護事業者連盟動向】

7月14日 長崎県支部・障害福祉事業部会長崎県支部 幹事会の開催（オンライン）

7月14日 愛知県支部 幹事会の開催（愛知県 オンライン）

7月15日 山口県支部 幹事会の開催（オンライン）

7月16日 北海道支部 幹事会の開催（オンライン）

7月17日 山口県支部主催『介護・障害福祉現場における生産性向上の取組み普及研修会』の開催（山口県）

7月21日 北海道・東北ブロック支部 幹事会の開催（オンライン）

7月24日 厚生労働省『2040年に向けたサービス提供体制等のあり方』検討会（第9回）に中川亮 副理事長が出席（オンライン）



■ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

社会保障審議会障害者部会（第148回）資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_59913.html

「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会（第9回）資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_59876.html

喀痰吸引等研修における通信・遠隔研修の取扱いについて

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/07/kourou20250714.pdf>

人口動態統計速報（令和7年5月分）

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/s2025/05.html>

2040年に向けたサービス提供体制等のあり方に関するとりまとめ

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_59981.html

第123回社会保障審議会介護保険部会資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_59984.html

「有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会」における議論の整理について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_59942.html



■ 介護・障害福祉ニュース

劇的な参院選で変わることと変わらないこと 介護業界から与野党を巻き込む「それぞれの発信」を
<https://www.joint-kaigo.com/articles/39398/>

介事連・斎藤氏が落選確実 「すべて私の責任」 今後は「白紙。支援者と考えたい」
<https://www.joint-kaigo.com/articles/39371/>

訪問介護+通所介護の新サービス創設を 介人研が要望書 報酬の引き上げ・処遇改善も
<https://www.joint-kaigo.com/articles/39339/>

障害福祉サービス、営利法人の事業所増 質の検証必要 〈厚労省〉

<https://fukushishimbun.com/series06/41566>

□ ■

賛助会員広告【株式会社クラブネット】

□ ■

【介護現場の生産性向上に！】請求書・同意書類をLINEで一括送信！

●ご家族への請求書や同意書類の郵送業務、もっとラクに！

＼生産性を高めませんか？／

印刷・封入・郵送の手間や、同意取得・管理に追われる毎日を、【CareLoop】がサポート！

CareLoopは、請求書やケアプランなどの書類をLINEやメールで一斉配信できるツールです。ご家族が使い慣れた「LINE・メール」を活用し、情報共有や同意取得をスムーズに。見逃し・未返送のリスクも削減！

書類はアップするだけ。誰でも扱えるシンプルな仕組みです。

多くの施設で導入が進み、「業務がラクになった」との声も！

現場の負担を減らしたい事業所様にこそ、ぴったりのツールです。

▼お問い合わせはコチラ

https://careloop.jp/1p/?utm_source=mail&utm_medium=kaiziren&utm_campaign=20250728&utm_content=b_overview

□ ■

■ 編集後記

介福士国家試験に新制度導入 「質の低下につながる」と懸念の声も

2026年1月の介護福祉士国家試験から「パート合格制度」が導入されます。

試験全体を3パートに分け、パートごとに合格基準点に達しているかを判断します。そして試験全体の点数が足りずに不合格になった場合でも、合格したパートがあれば、翌年・翌々年の受験では合格パートの試験が免除されるというものです。

試験の合格者数は、受験者減少に伴い10年前の7割弱の水準となっています。また、介護福祉士の平均年齢

は50歳弱で、定年退職者が近い将来大量に発生します。こうした介護福祉士不足の問題を解決することが、今回の試験制度改革の目的です。しかし、この新制度について現場からは「介護福祉士の質の低下につながる」「介護福祉士を増やすなら、まず処遇改善を図るべき」と、批判的な意見が多く聞かれます。介護福祉士の増加は喫緊の課題ではありますが、試験制度などの小手先の施策ではなく介護報酬の仕組み全体を見直すなど根本的な取り組みも必要です。

【配信元】一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

※2025年2月1日より、下記住所に移転いたしました

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-1 麹町富士ビル5階

TEL: 03-5215-5063 FAX: 03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp